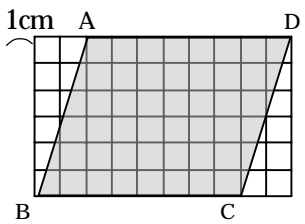
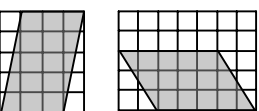
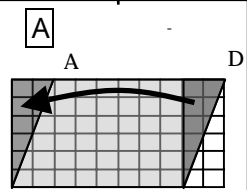
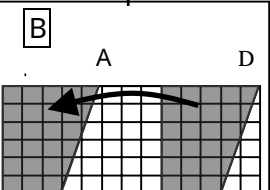
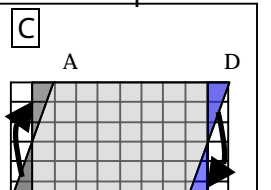


A案

5 本時(2時間目)の学習指導

- (1) 目標
 - ・ 長方形に等積変形しながら、平行四辺形の面積の求め方を考えることができる。
 - ・ 既習事項からの類推思考で考え、話し合いを通して、平行四辺形を長方形に変形して(置き換えて)考えれば求積できることを見つけることができる。

(2) 学習指導過程

学習活動	相	予想される児童の反応	教師の支援等 課題解決能力 見通し 共感性	
			T1:主にBの方法からの立場	T2:主にA・Cの方法からの立場
<p>1 平行四辺形の面積の求め方を考える。</p>  <p>2 それぞれの求め方について話し合う。</p> <p>(1) 図を使って説明する。</p> <p>(2) お互いの考え方について話し合う。</p> <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 練習問題を考える。</p>  <p>(2) 学習を振り返る。</p>	<p>つかむ</p> <p>つくる</p> <p>確かめる</p> <p>ふりかえる</p>	<p>平行四辺形の面積の求め方を考えよう。</p> <p>↓</p> <p>長方形に置き換えれば、求められそうだ。</p> <p>↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A</p>  <p>$6 \times 8 = 48$</p> <p><u>48 cm²</u></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>B</p>  <p>$6 \times 8 = 48$</p> <p><u>48 cm²</u></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>C</p>  <p>$6 \times 8 = 48$</p> <p>$(6 \times 6 + 6 \times 2 \div 2 \times 2)$</p> <p><u>48 cm²</u></p> </div> </div> <p>↓</p> <p>私も考え方が違う さんの考え方もやってみたいよ。</p> <p>↓</p> <p>どこで切って置き換えた場合でも、結局、同じ長方形で(縦×横)に置き換えて求められるんだ。</p> <p>↓</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平行四辺形の面積は長方形に置き換えれば求められる。 ・ さんの考え方と初めは違うと思っていたけれど、本当は同じ考え方を使っていたことに気づいた。 </div>	<p>課まず、提示した図形が既習の図形と違っているところ(課題としてひっかかってくること)は何かを明らかにし問題点を焦点化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平行四辺形の求積への意識付けをしっかりとさせるために、長方形からはみ出しているところの扱いがポイントになることにふれる。 <p>共 この後、類推思考させるためにA・CパターンとBパターンを意識して黒板に取り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人でいくつかの考え方ができていることを賞賛する。 <p>共 A・Bとも変形のし方は違っても、長方形に置き換えて求めていることに集約させるために、長方形のワク(6×8)を用意し、全パターンの長方形部分(変形後)を囲っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 求積の公式につなげるため『高さ』について助言する。 <p>評 平行四辺形の性質をもとに2種類以上の置き換え方で長方形に変形して面積を求めることができたか。</p>	<p>課 問題点が既習事項によって解けるかどうかについて「算数コーナー」で助言する。</p> <p>見 方法を見つけ出しにくい児童には、既習事項(長方形)をつかえば解けることに気づかせるため、付けたり、はずしたりできる模型(A・Cパターン)を用意して操作してみせる。</p> <p>共 自分の考え方と異なるパターンでもやらせて一般化を図るため、Bの置き換え方もやってみたくないようにうながす。</p> <p>・ 学び合いの大切さをさらに価値づけるため、振り返りカードで価値にふれている児童の内容を全体で紹介し、賞賛する。</p>

